

# 御所浦白亜紀資料館の 27 年間の歴史

廣瀬 浩司

( 天草市立御所浦白亜紀資料館 〒 866-0313 熊本県天草市御所浦町御所浦 4310-5 )

## はじめに

御所浦白亜紀資料館は、1997（平成 9）年 7 月 1 日に御所浦島開発総合センター（後の御所浦地区コミュニティセンター）の一角を使い、オープンした。2006（平成 18）年 3 月 27 日には御所浦町を含む天草地域の 2 市 8 町が合併し、天草市が誕生したことに伴い、天草市立御所浦白亜紀資料館となった。2024（令和 6）年 3 月 20 日には全面リニューアルによる「天草市立御所浦恐竜の島博物館」の誕生により、「御所浦白亜紀資料館」としては 27 年間の歴史に幕を閉じる。簡単ながらもこの間の御所浦白亜紀資料館の活動のまとめとして本報告を行う。

## 御所浦における研究

御所浦地域の研究は、1922（大正 11）年に北海道帝国大学の長尾巧によって「御所浦層群」や「姫浦層群」の地層名が命名されたことに始まる。その後、1923（大正 12）年に京都の第三高等学校及び大阪高等学校の江原眞伍がトリゴニアの記載を行い、1930（昭和 5）年には、地質調査所の納富茂雄によって御所浦を含む天草地域の地質図が作成された。1938（昭和 13）年には、東京大学（のちに九州大学）の松本達郎によって御所浦島の詳細な調査による地質の報告及び産出する化石の記載が行われ、1960（昭和 35）年には、熊本大学の天野昌久が牧島や横浦島の調査による地質について報告した。それ以降、熊本大学や高知大学による古生物の研究が行われ、1991（平成 3）年から 4 年間、旧御所浦町による御所浦町地学総合学術調査が行われ 1996（平成 8）年にその報告書が作られた。詳細な地質調査はその後、1995（平成 7）年に金沢大学の塚脇真二、2005 年（平成 17 年）に熊本大学の小松俊文らによるものがある。1995（平成 7）年以降には熊本大学（現 福井県立恐竜博物館）の宮田和周を中心とした哺乳類の化石の発見や研究がある。また、1997（平成 9）年 3 月と 5 月に高知大学を中心とした調査が行われ、恐竜化石が相次いで発見された。御所浦白亜紀資料館開館以降は、同資料館が中心となって、調査や報告が行っている。同館が発行に関わっている学術誌としては、1998（平成 10）年に「御所浦の地質」を御所浦町全島博物館構想推進協議会から刊行、2000（平成 12）年からは毎年「御所浦白亜紀資料館報」を発行し、御所浦に留まらず全国の地質や化石、天草の現生生物についての報告を行ってきた。

## 御所浦白亜紀資料館開館までの経緯

先に述べた研究により、御所浦は以前から「化石の島」として知られていた。1991（平成 3）年から 4 年間、これらの地質学的価値を改めて調査するため旧御所浦町による調査が行われ、1996（平成 8）年に御所浦町地学総合学術調査の報告書が作られた。1994（平成 6）年には、東天草地域リゾート整備構想が策定され、その中で御所浦町は「探求の島・学習の島」と位置づけられ、地域活性化を目指すため、自然環境や歴史等の資源を生かす方針が示された。1996（平成 8）年 12 月に、化石を中心とした御所浦町の地域振興を図るため、御所浦町全島博物館構想準備委員会が発足し、翌年 4 月には御所浦町全島博物館構想推進協議会となった。1997（平成 9）年 3 月の恐竜化石発見を機に資料館の設置の機運が高まり、この年の 7 月 1 日には既存の御所浦島開発総合センターの一部を利用し、御所浦町全島博物館推進協議会を諮問機関とした御所浦白亜紀資料館が開館した。1998（平成 10）年 3 月には、旧御所浦町により「御所浦全島博物館構想推進計画」

が作られ、将来的な博物館建設計画についても言及されている。

### 御所浦白亜紀資料館の体制

御所浦白亜紀資料館の体制として、展示スペースの拡充や活動の充実に伴い、スタッフ数を増やしていった。一時的な臨時的雇用者や天草市となった2006(平成18)年度以降の本庁の担当職員を除くスタッフ数は、次のように変遷してきた。

- 1997(平成9)年度(所轄は御所浦町教育課)  
館長(非常勤特別職1名), 正職員(非常駐1名), 非常勤職員(専門職員1名, 受付2名)
- 1998(平成10)年度(所轄は御所浦町教育課)  
館長(非常勤特別職1名), 正職員(専門職員1名, 非常駐1名), 非常勤職員(受付2名)
- 1999(平成11)年度(所轄は御所浦町教育課)  
館長(非常勤特別職1名), 正職員(専門職員2名, 非常駐1名), 非常勤職員(受付2名)
- 2003(平成15)年度(所轄は御所浦町教育課)  
館長(非常勤特別職1名), 正職員(事務職員1名, 専門職員2名), 非常勤職員(受付2名)
- 2004(平成16)年度(所轄は御所浦町教育課)  
館長(非常勤特別職1名), 正職員(事務職員1名, 学芸員1名, 専門職員1名), 非常勤職員(受付2名)
- 2005(平成17)年度(所轄は御所浦町教育課及び観光推進課, 市町合併後は天草市文化課)  
館長(非常勤特別職1名), 正職員(事務職員1名, 学芸員1名, 専門職員1名), 非常勤職員(受付2名, 化石発掘クリーニング作業員1名)
- 2006(平成18)年度(所轄は天草市教育部)  
館長(非常勤特別職1名), 正職員(学芸員2名), 非常勤職員(受付2~3名, 化石発掘クリーニング作業員1名)
- 2011(平成23)年度(所轄は天草市教育部)  
館長(非常勤特別職1名), 正職員(学芸員2名), 非常勤職員(受付3名, 化石発掘クリーニング作業員1名)
- 2012(平成24)年度(所轄は天草市教育部)  
館長(非常勤特別職1名), 正職員(学芸員2名), 非常勤職員(学芸員1名, 受付3名, 化石発掘クリーニング作業員1名)
- 2013(平成25)年度(所轄は天草市観光文化部)  
館長(非常勤特別職1名), 正職員(学芸員2名), 非常勤職員(学芸員1名, 受付3名, 化石発掘クリーニング作業員2名)
- 2023(令和5)年度(所轄は天草市観光文化部)  
館長(非常勤特別職1名), 正職員(学芸員2名), 会計年度任用職員(学芸員1名, 受付3名, 化石発掘クリーニング作業員2~3名)

### 主な施設

#### ○御所浦白亜紀資料館

1997(平成9)年7月1日に御所浦島開発総合センター内に「御所浦白亜紀資料館」として開館し、2006(平成18)年3月27日の市町合併に伴う天草市誕生により「天草市立御所浦白亜紀資料館」となる。全面リニューアルに伴い、2021(令和3)年8月16日に同センター内の展示を終えたが、2022(令和4)年1月24日から2023(令和5)年11月19日の期間は御所浦白亜紀資料館の仮事務所としていた旧御所浦歯科診療所で一部の化石の展示を行った。全面リニューアルに伴い「御所浦恐竜の島博物館」となることから、そのオープン前日の2024(令和6)年3月19日に閉館。

#### ○化石採集場

1999（平成11）年7月より、御所浦島内で県道工事の途中だった場所を熊本県の許可を受け、工事が再開されるまでの長期期間、現地の化石を利用した「花岡山化石採集場」を整備した。工事の再開に伴い、2003（平成15）年に旧道跡地を再整備し、「花岡山化石採集場」とした。2008（平成20）年4月から2012（平成24）年3月まで、御所浦漁港内に新たに「トリゴニア砂岩化石採集場」として仮設置し、御所浦島南西部の採石場跡地より落石を搬入し利用した。その後は、旧道路跡地であった化石採集場を「トリゴニア砂岩化石採集場」とし、現在に至る。なお、この化石採集場の維持管理は、2005（平成17）年から御所浦町（現天草市）が行っている。

#### ○アンモナイト館

かつては海岸の露頭中にあった大きなアンモナイト化石（ユーパキディスキス）を道路（現在の旧道）整備に伴う埋め立てから保護するため、整備したマンホール状の穴の中で保護していた。この化石を常時見学できるよう、1997（平成9）年8月に見学施設として整備した。

#### ○長浦化石保管倉庫

1997（平成9）年より化石標本の保管場所として旧長浦中学校を利用してきた。老朽化に伴い2024（令和6）年度に解体を予定している。

#### ○恐竜標本保管倉庫

2001（平成13）年2月より恐竜の複製骨格等の保管場所として旧オリエント縫製工場を利用している。

#### ○その他の整備

1998（平成10）年以降、野外見学地を選定し解説板等を整備してきた。また、2000（平成12）年以降、各地に恐竜等の古生物のオブジェを設置し、現在も維持管理を行っている。2000（平成12）年3月には、既存のニガキ公園を拡張する形でニガキ化石公園を整備した。

### 御所浦白亜紀資料館の入館者数

1997（平成9）年7月1日の開館から博物館開館準備に伴う休館期間前の2023年11月19日までの期間、入館者があった。開館入場者は延べ224,407人であった。当初、観覧料は無料であったが、2003（平成15）年1月より有料化した。2022（令和4）年1月から2023（令和5）年11月の旧御所浦歯科診療所における観覧料は無料とした。

年度別としては、1997（平成9）年度・6,308人、1998（平成10）年度・24,031人、1999（平成11）年度・6,524人、2000（平成12）年度・7,578人、2001（平成13）年度・16,715人、2002（平成14）年度・9,007人、2003（平成15）年度・10,637人、2004（平成16）年度・7,716人、2005（平成17）年度・9,084人、2006（平成18）年度・8,550人、2007（平成19）年度・9,153人、2008（平成20）年度・8,925人、2009（平成21）年度・8,707人、2010年（平成22）年度・8,285人、2011（平成23）年度・7,638人、2012（平成24）年度・8,438人、2013（平成25）年度・8,339人、2014（平成26）年度・6,919人、2015（平成27）年度・7,815人、2016（平成28）年度・6,576人、2017（平成29）年度・9,601人、2018（平成30）年度・8,631人、2019（平成31・令和元）年度・8,385人、2020（令和2）年度・3,466人、2021（令和3）年度・2,324人、2022（令和4）年度・2,983人、2023（令和5）年度・2,072人。

### 御所浦白亜紀資料館の展示及び収蔵標本

当初は御所浦島開発総合センター3階の一部の研修室を使い御所浦白亜紀資料館がオープンしたが、標本の充実や調査研究等の成果として貴重な化石が増えてきたことにより、徐々に展示スペースを拡張してきた。

展示や収蔵の多くは、御所浦を主とした天草の化石であり、恐竜などといった海外の古生物に関する標本についても収集及び展示を行ってきた。また、岩石や現生標本についての収集や展示も行い、天草地域における自然史分野の展示施設としての役割を果たしてきた。御所浦島開発総合センター（御所浦地区コミュニティセンター）における御所浦白亜紀資料館の展示数は最終的に約1,000点。収蔵庫として、長浦化石保管

倉庫（旧長浦中学校）及び恐竜標本保管倉庫（旧オリエント縫製工場）があり、収蔵標本数は約 30,000 点（うち登録標本は約 8,000 点）。関連する展示施設としては、地層中の化石を現地保存した牧島にアンモナイト館があるほか、ニガキ化石公園や野外見学地（地層や化石等の観察地）などを維持管理してきた。

- 1997（平成 9）年 展示室 1 部屋，事務室 1 部屋（一部展示に利用）
- 1998（平成 10）年 展示室を 2 部屋に拡張，事務室 1 部屋
- 2000（平成 12）年 展示室を 3 部屋に拡張，事務室 1 部屋
- 2004（平成 16）年 ロビーに恐竜複製骨格の展示
- 2005（平成 17）年 2 階ショーウィンドウ展示（現生貝類などの展示）

### 化石のクリーニング公開

1999（平成 11）年 1 月に御所浦白亜紀資料館としては初めて化石のクリーニング（プレパレーション）作業を 3 日間一般公開した。同年 9 月から化石のクリーニング（プレパレーション）作業場を見学用に常設した。作業は不定期であったが、当時、国内ではあまり例を見ない取り組みであった。2000（平成 12）年には期間限定で、恐竜化石のクリーニング作業の公開をしている。以後、恐竜化石などの脊椎動物化石を中心にクリーニング作業を続けている。2002（平成 14）年には、幕張メッセ（千葉県）で行われた「世界最大の恐竜展」においても開催期間中、御所浦層群産の恐竜化石のクリーニング作業を公開した。

### 特別展・企画展

1998（平成 10）年に初めて特別展を開催して以来、リニューアルに伴う御所浦白亜紀資料館（御所浦島開発総合センター）の解体前の 2021（令和 3）年まで、毎年特別展（企画展）を開催してきた。また、1998（平成 11）年からは、恐竜絵画コンテストを開催し、その作品展を行っている。そのほか、各地のイベントや他の博物館の特別展（企画展）等において、標本の貸し出し等の展示協力を行っている。

- 特別展「モンゴル恐竜化石特別展 in 御所浦」開催
  - 期 間：1998（平成 10）年 9 月 7 日～11 月 3 日（9 月 6 日はセレモニー）
  - 入場者：20,031 人（幼児除く）
  - 内 容：「格闘恐竜」（ヴェロキラプトルとプロトケラトプス）などモンゴル産の実物恐竜化石などの展示
- 企画展「鉄の恐竜展」開催
  - 期 間：1999（平成 11）年 7 月 24 日～8 月 18 日 入場者：3,889 人
  - 内 容：北九州在住の藤田健次氏による鉄製の恐竜などのオブジェの展示
- 第 1 回恐竜絵画コンテスト作品展
  - 期 間：1999（平成 11）年 7 月 24 日～8 月 18 日
  - 内 容：企画展と同時開催、応募のあった 4,223 点の全作品を展示
- 企画展「ヒサクニヒコ恐竜原画展」開催
  - 期 間：2000（平成 12）年 7 月 22 日～8 月 20 日 入場者：2,845 人
  - 内 容：漫画家ヒサクニヒコ氏による恐竜などのイラスト原画の展示
- 第 2 回恐竜絵画コンテスト作品展
  - 期 間：2000（平成 12）年 7 月 22 日～8 月 20 日
  - 内 容：企画展と同時開催、入賞作品 96 点・佳作 372 点を展示
- 企画展「御所浦層群の化石展－1 億年前の御所浦層群の生き物たち－」
  - 期 間：2000（平成 12）年 11 月 23 日～12 月 3 日 入場者：600 人
  - 内 容：御所浦白亜紀資料館が所蔵する御所浦層群の化石等の展示
- 特別展「大恐竜展 in 御所浦－失われた恐竜たちの楽園－」
  - 期 間：2001（平成 13）年 7 月 20 日～8 月 31 日 入場者：13,898 人

内 容：御所浦白亜紀資料館が所蔵する恐竜の全身複製骨格や海外産の化石などの展示

○ 第3回恐竜絵画コンテスト作品展

期 間：2001（平成13）年7月20日～8月31日

内 容：特別展と同時開催，入賞作品106点・佳作118点を展示

○ 恐竜折り紙展

期 間：2001（平成13）年7月20日～8月31日

内 容：特別展と同時開催，熊本市内在住の小学生の中村謙太さんの作品を展示

○ 企画展「あまくさの化石展」

期 間：2002（平成14）年7月21日～9月1日 入場者：5,435人

内 容：天草の化石をテーマに開催，天草産の化石を展示

○ 第4回恐竜絵画コンテスト作品展

期 間：2002（平成14）年7月21日～9月1日

内 容：企画展と同時開催，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般の6部門の入賞（最優秀賞等を含む）99点・佳作250点を展示

○ 企画展「御所浦恐竜発掘展」

期 間：2003（平成15）年7月19日～8月24日 入場者：5,039人

内 容：御所浦の恐竜化石をテーマに開催，御所浦産の恐竜化石や関連する化石，道具類等の展示

○ 第5回恐竜絵画コンテスト作品展

期 間：2003（平成15）年7月19日～8月24日

内 容：企画展と同時開催，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般の6部門の入賞（最優秀賞等を含む）93点・佳作219点を展示

○ 企画展「マダガスカルのアモンナイト展」

期 間：2004（平成16）年7月24日～8月22日 入場者：3,421人

内 容：マダガスカルのアモンナイトをテーマに開催，マダガスカルのアモンナイトや宝石等の展示

○ 第6回恐竜絵画コンテスト作品展

期 間：2004（平成16）年7月24日～8月22日

内 容：企画展と同時開催，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般の6部門の入賞（最優秀賞等を含む）104点・佳作188点を展示

○ 企画展「恐竜と古代哺乳類の時代」

期 間：2005（平成17）年7月17日～8月28日 入場者：4,558人

内 容：恐竜や古代哺乳類をテーマに開催，恐竜に関する標本や御所浦産の哺乳類化石等の展示

○ 第7回恐竜絵画コンテスト作品展

期 間：2005（平成17）年7月17日～8月28日

内 容：企画展と同時開催，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般の6部門の入賞（最優秀賞等を含む）105点・佳作214点を展示

○ 特別展「生命の歴史展－古代の生物，恐竜，そして人類の時代へ－」

期 間：2006（平成18）年7月15日～8月27日 入場者：4,020人

内 容：古生代から新生代まで様々な時代の化石をテーマに開催，恐竜や化石等の展示

○ 第8回恐竜絵画コンテスト作品展

期 間：2006（平成18）年7月15日～8月27日

内 容：特別展と同時開催，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般の6部門の入賞（最優秀賞等を含む）59点・佳作228点を展示

○ 特別展「生きた化石と恐竜展」

- 期 間：2007（平成 19）年 7 月 21 日～9 月 1 日 入場者：5,332 人  
 内 容：生きた化石をテーマに開催，生きた化石に関連する化石等の展示，現生生物の標本展示や飼育展示，恐竜に関する標本の展示
- 第 9 回恐竜絵画コンテスト作品展  
 期 間：2007（平成 19）年 7 月 21 日～9 月 1 日  
 内 容：特別展と同時開催，最優秀作品 1 点，優秀作品 5 点，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般の 6 部門の入賞 57 点・佳作 259 点を展示
- 移動展「恐竜と天草の化石展」  
 期 間：2007（平成 19）年 11 月 17 日～12 月 24 日 入場者：1,118 人  
 内 容：市内移動展として御所浦白亜紀資料館所蔵の恐竜や天草産の化石を天草コレジオ館で展示
- 移動展「恐竜と天草の化石展」  
 期 間：2008（平成 20）年 5 月 17 日～6 月 1 日 入場者：641 人  
 内 容：市内移動展として御所浦白亜紀資料館所蔵の恐竜や天草産の化石を天草宝島国際交流会館ポルトで展示
- 特別展「くまもとの化石展」  
 期 間：2008（平成 20）年 7 月 19 日～8 月 31 日 入場者：5,007 人  
 内 容：熊本の化石をテーマに開催，関連する化石や現生標本等の展示
- 第 10 回恐竜絵画コンテスト作品展  
 期 間：2008（平成 20）年 7 月 19 日～8 月 31 日  
 内 容：特別展と同時開催，最優秀作品 1 点，優秀作品 5 点，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般の 6 部門の入賞 58 点・佳作 251 点を展示
- 企画展「ブラジルの古代魚の化石展」  
 期 間：2009（平成 21）年 7 月 18 日～8 月 31 日 入場者：4,220 人  
 内 容：ブラジルの魚化石をテーマに開催，白亜紀のブラジル産魚化石等の展示
- 第 11 回恐竜絵画コンテスト作品展  
 期 間：2009（平成 21）年 7 月 18 日～8 月 31 日  
 内 容：企画展と同時開催，最優秀作品 1 点，優秀作品 5 点，特別賞 1 点，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般の 6 部門の入賞 64 点・佳作 208 点を展示
- 企画展「よみがえる恐竜と古生物の世界－徳川広和造形展－」  
 期 間：2010（平成 22）年 7 月 17 日～8 月 31 日 入場者：3,803 人  
 内 容：古生物造形師の作品を展示
- 第 12 回恐竜絵画コンテスト作品展  
 期 間：2010（平成 22）年 7 月 17 日～8 月 31 日  
 内 容：企画展と同時開催，最優秀作品 1 点，優秀作品 5 点，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般の 6 部門の入賞 48 点・佳作 210 点（ジオパーク部門の佳作 1 点を含む）を展示
- 企画展「北と南のアンモナイト展」  
 期 間：2011（平成 23）年 7 月 16 日～8 月 31 日 入場者：3,708 人  
 内 容：北海道と天草のアンモナイトをテーマに開催，関連する化石等を展示
- 第 13 回恐竜絵画コンテスト作品展  
 期 間：2011（平成 23）年 7 月 16 日～8 月 31 日  
 内 容：企画展と同時開催，最優秀作品 1 点，優秀作品 6 点，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般・ジオパーク絵画の 7 部門の入賞 49 点・佳作 211 点を展示
- 特別展「地上の覇者－恐竜と哺乳類、巨大鳥類－」

- 期 間：2012（平成24）年7月14日～9月2日 入場者：4,336人  
 内 容：地上で繁栄した生物（恐竜・哺乳類・鳥類）をテーマに開催，関連する化石等を展示
- 第14回恐竜絵画コンテスト作品展  
 期 間：2012（平成24）年7月14日～9月2日  
 内 容：特別展と同時開催，最優秀作品1点，優秀作品6点，特別賞1点，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般・ジオパーク絵画の7部門の入賞47点・佳作207点を展示
- 特別展「九州にゾウがいた時代」  
 期 間：2013（平成25）年7月13日～9月1日 入場者：4,391人  
 内 容：九州の新第三紀～第四紀の化石をテーマに開催，関連する化石等を展示
- 写真展「天草の水中写真展－中野誠志作品展－」  
 期 間：2013（平成25）年7月13日～9月1日  
 内 容：特別展と同時開催，天草在住の水中風景カメラマンの作品を展示
- 第15回恐竜絵画コンテスト作品展  
 期 間：2013（平成25）年7月13日～9月1日  
 内 容：特別展と同時開催，最優秀作品1点，優秀作品6点，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般・ジオパーク絵画の7部門の入賞50点・佳作216点を展示
- 特別展「貝の世界－三葉虫時代、恐竜時代から今へ－」  
 期 間：2014（平成26）年7月19日～9月17日 入場者：3,242人  
 内 容：貝をはじめとする軟体動物をテーマに開催，関連する化石や現生の標本等を展示
- 第56回九州広告美術コンクール作品展  
 期 間：2014（平成26）年7月19日～9月17日  
 内 容：天草ジオパーク構想をテーマとした同コンクールの優秀作品40点を展示
- 第16回恐竜絵画コンテスト作品展  
 期 間：2014（平成26）年7月19日～9月17日  
 内 容：特別展と同時開催，最優秀作品1点，優秀作品6点，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般・ジオパーク絵画の7部門の入賞50点・佳作238点を展示
- 特別展「みんなの化石展－発見・寄贈された化石たち－」  
 期 間：2015（平成27）年7月18日～8月31日 入場者：3,331人  
 内 容：御所浦白亜紀資料館にこれまでに寄贈された化石をテーマに開催，寄贈化石等の展示
- 第17回恐竜絵画コンテスト作品展  
 期 間：2015（平成27）年7月18日～8月31日  
 内 容：特別展と同時開催，最優秀作品1点，優秀作品6点，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般・ジオパーク絵画の7部門の入賞57点・佳作212点を展示
- 特別展「天草ジオパークと日本のジオパーク」  
 期 間：2016（平成28）年7月16日～8月31日 入場者：3,412人  
 内 容：ジオパークをテーマに開催，国内のジオパークの岩石やポスター，海外のジオパークのグッズ等の展示
- 第18回恐竜絵画コンテスト作品展  
 期 間：2016（平成28）年7月16日～8月31日  
 内 容：特別展と同時開催，最優秀作品1点，優秀作品6点，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般・ジオパーク絵画の7部門の入賞57点・佳作212点を展示
- 特別展「恐竜展－トリケラトプスの仲間とその進化－」  
 期 間：2017（平成29）年7月15日～9月3日 入場者：6,246人

内 容：角竜をテーマに開催，恐竜に関連する標本の展示

○ 第 19 回恐竜絵画コンテスト作品展

期 間：2017（平成 29）年 7 月 15 日～9 月 3 日，9 月 8 日～20 日

内 容：特別展と同時開催，最優秀作品 1 点，優秀作品 6 点，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般・ジオパーク絵画の 7 部門の入賞 57 点・佳作 224 点を展示，9 月はギャラリー四季において展示

○ 特別展「恐竜と今に生きる太古の生き物」

期 間：2018（平成 30）年 7 月 14 日～9 月 2 日 入場者：4,383 人

内 容：「生きた化石」をテーマに開催，関連する化石標本や剥製等を展示，飼育展示，恐竜に関連する標本の展示

○ 第 20 回恐竜絵画コンテスト作品展および天草ジオパーク・絵画デザインコンテスト作品展

期 間：2018（平成 30）年 7 月 14 日～9 月 2 日，9 月 7 日～19 日

内 容：特別展と同時開催，最優秀作品 2 点，優秀作品 8 点，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般・ジオパーク絵画・ジオパークデザインの 8 部門の入賞 54 点・佳作 221 点を展示，9 月はギャラリー四季において展示

○ 特別展「世界のアンモナイト」

期 間：2019（令和元）年 7 月 13 日～9 月 1 日 入場者：4,145 人

内 容：アンモナイトをテーマに開催，国内外のアンモナイトや関連する化石等の展示

○ 第 21 回恐竜絵画コンテスト作品展

期 間：2019（令和元）年 7 月 13 日～9 月 1 日，9 月 6 日～10 月 2 日

内 容：特別展と同時開催，最優秀作品 1 点，優秀作品 6 点，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般の 6 部門の入賞 54 点・佳作 208 点を展示，9～10 月はギャラリー四季において展示

○ 企画展「恐竜」

期 間：2020（令和 2）年 8 月 1 日～8 月 31 日 入場者：979 人

内 容：恐竜をテーマに開催，所蔵する恐竜に関する標本を展示

○ 第 22 回恐竜絵画コンテスト作品展

期 間：2020（令和 2）年 9 月 5 日～10 月 4 日，10 月 14 日～31 日

内 容：最優秀作品 1 点，優秀作品 5 点，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般の 6 部門の入賞 33 点・佳作 128 点を展示，10 月はギャラリー四季において展示

○ 企画展「恐竜からイルカまで天草一億年の旅 -御所浦白亜紀資料館収蔵品展-」

期 間：2021（令和 3）年 7 月 17 日～8 月 16 日 入場者：1,219 人

内 容：御所浦白亜紀資料館が所蔵する化石や現生生物に関する標本等を展示

○ 第 23 回恐竜絵画コンテスト作品展

期 間：2021（令和 3）年 7 月 17 日～8 月 16 日・10 月 13～31 日

内 容：企画展と同時開催，最優秀作品 1 点，優秀作品 5 点，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般の 6 部門の入賞 48 点・佳作 149 点を展示，10 月はギャラリー四季において展示

○ 第 24 回恐竜絵画コンテスト作品展

期 間：2022（令和 4）年 7 月 30 日～8 月 31 日

内 容：最優秀作品 1 点，優秀作品 5 点，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般の 6 部門の入賞 54 点・佳作 120 点をギャラリー四季において展示

○ 第 25 回恐竜絵画コンテスト作品展

期 間：2023（令和 5）年 8 月 2 日～8 月 31 日

内 容：最優秀作品 1 点，優秀作品 5 点，幼児・小学生（低・中・高学年）・中学生・一般の 6 部門の入

賞 54 点・佳作 129 点をギャラリー四季において展示

### 恐竜絵画コンテスト

1999（平成 11）年より恐竜等の古生物をテーマとした絵画コンテストを毎年実施している。これまでに全国各地だけでなく、海外からも作品の応募がある。2010（平成 22）年から 2018（平成 30）年には、ジオパークをテーマに作品を募集した。

- 1999（平成 11）年・第 1 回（6 部門で募集, 応募数 4,223 点, 入賞作品 91 点・佳作 181 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2000（平成 12）年・第 2 回（6 部門で募集, 応募数 3,169 点, 入賞作品 96 点・佳作 372 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2001（平成 13）年・第 3 回（6 部門で募集, 応募数 3,094 点, 入賞作品 106 点・佳作 118 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2002（平成 14）年・第 4 回（6 部門で募集, 応募数 2,531 点, 入賞作品 99 点・佳作 250 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2003（平成 15）年・第 5 回（6 部門で募集, 応募数 2,735 点, 入賞作品 93 点・佳作 219 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2004（平成 16）年・第 6 回（6 部門で募集, 応募数 2,817 点, 入賞作品 104 点・佳作 188 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2005（平成 17）年・第 7 回（6 部門で募集, 応募数 2,592 点, 入賞作品 105 点・佳作 214 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2006（平成 18）年・第 8 回（6 部門で募集, 応募数 4,068 点, 入賞作品 59 点・佳作 228 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2007（平成 19）年・第 9 回（6 部門で募集, 応募数 3,104 点, 入賞作品 63 点・佳作 259 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2008（平成 20）年・第 10 回（6 部門で募集, 応募数 2,278 点, 入賞作品 64 点・佳作 251 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2009（平成 21）年・第 11 回（6 部門で募集, 応募数 2,478 点, 入賞作品 70 点・佳作 208 点・特別賞 1 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2010（平成 22）年・第 12 回（7 部門で募集, 応募数 3,481 点, 入賞作品 54 点・佳作 210 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2011（平成 23）年・第 13 回（7 部門で募集, 応募数 3,857 点, 入賞作品 56 点・佳作 211 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2012（平成 24）年・第 14 回（7 部門で募集, 応募数 2,971 点, 入賞作品 54 点・佳作 207 点・特別賞 1 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2013（平成 25）年・第 15 回（7 部門で募集, 応募数 2,606 点, 入賞作品 57 点・佳作 216 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2014（平成 26）年・第 16 回（7 部門で募集, 応募数 2,206 点, 入賞作品 64 点・佳作 212 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2015（平成 27）年・第 17 回（7 部門で募集, 応募数 2,609 点, 入賞作品 50 点・佳作 238 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2016（平成 28）年・第 18 回（7 部門で募集, 応募数 2,206 点, 入賞作品 64 点・佳作 212 点を審査により選出, 表彰式実施）
- 2017（平成 29）年・第 19 回（7 部門で募集, 応募数 2,544 点, 入賞作品 64 点・佳作 224 点を審査により選出, 表彰式は台風のため中止）

- 2018（平成 30）年・第 20 回（8 部門で募集，応募数 2,433 点，入賞作品 66 点・佳作 219 点を審査により選出，表彰式実施）
- 2019（令和元）年・第 21 回（6 部門で募集，応募数 2,389 点，入賞作品 61 点・佳作 208 点を審査により選出，表彰式実施）
- 2020（令和 2）年・第 22 回（6 部門で募集，応募数 1,429 点，入賞作品 33 点・佳作 128 点を審査により選出，表彰式実施）
- 2021（令和 3）年・第 23 回（6 部門で募集，応募数 2,314 点，入賞作品 54 点・佳作 149 点を審査により選出，表彰式実施）
- 2022（令和 4）年・第 24 回（6 部門で募集，応募数 2,287 点，入賞作品 60 点・佳作 120 点を審査により選出，表彰式実施）
- 2023（令和 5）年・第 25 回（6 部門で募集，応募数 2,145 点，入賞作品 60 点・佳作 129 点を審査により選出，表彰式実施）

### 学会等の開催

- 御所浦町古生物ワークショップ
  - 期 間：2003（平成 15）年 11 月 23～24 日 場 所：御所浦島開発総合センター
  - 内 容：古生物研究者による講話や研究発表，巡検会の実施
- 日本古生物学会第 153 回例会の開催
  - 期 間：2004（平成 16）年 1 月 24～26 日 場 所：御所浦島開発総合センター・御所浦老人憩いの家
  - 内 容：日本古生物学会の例会を誘致しシンポジウムや普及講演，個人講演の開催，巡検会の実施

### 化石について報道発表等 ※会見を開いたものはその年月、それ以外は新聞掲載の年月

これまでに天草地域の古生物に関する調査研究や発掘を行っており，学術的な報告を国内外の学会や御所浦白亜紀資料館報等の学術誌で報告している．また，化石採集体験においても貴重な化石が発見されている．これらの報告のうち，ニュース性のあるものについて報道発表を行ったり，報道機関に取り上げられたりしてきた．

- 1997（平成 9）年
  - ・国内最大級の肉食恐竜（獣脚類）の歯化石（1997 年 3 月御所浦町発見，4 月報道）
  - ・天草（御所浦）初の恐竜化石（1997 年 3 月，4 月報道 [上記及び下記と同時]）
  - ・国内最古の大型哺乳類コリフォドン化石（1995 年 3 月発見，1997 年 4 月記者発表 [上記 2 件と同時]）
  - ・九州初の恐竜（獣脚類）足跡化石発見（1997 年 5 月発見，6 月報道）
  - ・竜脚類の歯化石（1997 年 5 月発見，7 月報道）
  - ・鳥脚類（植物食恐竜）の足跡化石（1997 年 5 月発見，7 月報道 [上記と同時]）
  - ・鳥脚類（イグアノドン類）の歯化石（1997 年発見・報道，2014 年学術報告）
- 1998（平成 10）年
  - ・国内 3 例目（御所浦 2 例目）となる国内最古の大型哺乳類コリフォドン類化石（1995 年発見，1998 年 9 月報道）
  - ・小型獣脚類の歯化石（1998 年 9 月発見，10 月報道）
  - ・化石採集体験中に本渡中学校生徒（当時）による恐竜化石発見（1998 年 10 月発見・報道）
- 2001・2002（平成 13・14）年
  - ・鳥脚類（イグアノドン類）の歯化石（2001 年発見・報道）
  - ・国内最古の奇蹄類化石（1997 年発見，2001 年 1 月報道）
  - ・御所浦層群産のまとまった鳥脚類恐竜化石（1999 年発見，2001 及び 2002 年に特集番組）

- 2004（平成 16）年
  - ・国内 5 例目（御所浦 3 例目）の国内最古の大型哺乳類コリフォドン類化石（2004 年 11 月発見，2004 及び 2005 年に発掘・報道）
- 2006（平成 18）年
  - ・国内最古のバカガイ類化石（1999 年発見，2006 年 2 月報道）
  - ・新種の巻貝化石ゴショウラキリガイダマシ（2005 年 5 月発見，2006 年 2 月報道）
  - ・肉食恐竜の歯化石（2006 年 5 月発見，6 月報道）
- 2007（平成 19）年
  - ・アジア初のトロゴサス類となる大型哺乳類トロゴサス（1998 年 発見，2007 年 3 月報道）
- 2009（平成 21）年
  - ・化石採集体験中に富合小学校児童(当時)による御所浦層群初のイノセラムス類化石発見(2009 年 10 月発見，12 月報道)
- 2012（平成 24）年
  - ・化石採集体験中に県外小学生による国内 2 例目の爬虫類の皮膚痕化石発見（2001 年発見，2012 年 7 月報道）
- 2013（平成 25）年
  - ・哺乳類や大型鳥類の足跡化石（2013 年 4 月発見，7 月報道）
  - ・アジア初のシャコ類の大顎化石（2012 年 3 月発見，8 月報道）
- 2015（平成 27）年
  - ・九州初のモササウルス類の歯化石（1998 年 10 月発見，2015 年 3 月報道）
  - ・化石採集体験中に熊本北高校生徒による御所浦層群初のコハク発見（2015 年 10 月発見，12 月報道）
- 2017（平成 29）年
  - ・ティラノサウルス科の歯化石（2014 年 10 月発見，2017 年 7 月報道）
- 2018（平成 30）年
  - ・新属新種の大型魚化石アマクサゴショウラムカシウオ（2012 年 3 月発見，2018 年 9 月報道）
- 2020（令和 2）年
  - ・国内最大級（九州最大）の恐竜化石（1999 年 4 月発見，2020 年 2 月報道）
- 2021（令和 3）年
  - ・白亜紀末期のハドロサウルス上科の歯化石（2018 年 10 月及び 2021 年 3 月発見，2021 年 6 月報道）
- 2023（令和 5）年
  - ・九州最古の翼竜化石（1997 年発見，2023 年 7 月報道）
- 2023（令和 5）年
  - ・アジア最古のトロゴサス亜科の歯化石（2000 年 3 月発見，2023 年 9 月報道）
- 2024（令和 6）年
  - ・国内初のティラノサウルス科の下顎化石（2014 年 10 月発見，2024 年 2 月報道）

### 主な普及事業

普及事業として，先述の特別展（企画展）や恐竜絵画コンテストのほかに，一般対象や小学生対象の化石セミナー，化石教室，講演などを行ってきた。

#### ○ 夏休み化石セミナー

小学生以上の一般を対象に，1997（平成 9）年より毎年現地の場所を変えながら実施している。夏に一泊二日の日程で年 2 回実施してきたが，台風の影響や新型コロナウイルスの拡大防止対策のため，中止や日帰りで実施したこともあった。

○ 御所浦町内小学校化石セミナー

御所浦町内の小学校 5・6 年生を対象に、1997（平成 9）年より毎年現地を利用し実施している。半日の日程で実施し、最近では御所浦島を巡るクルージングコースと横浦島及び牧島を巡るコースを交互に実施している

○ 御所浦町内中学校化石セミナー

1997（平成 9）年から 2010（平成 22）年まで毎年現地を利用し、半日の日程で実施していた。本セミナーではないが、2013（平成 25）年以降は、御所浦中学校 3 年生を対象に、総合学習の時間を利用したジュニアガイドサポーター養成を行っている。

○ ゴールデンウィーク化石教室

2004（平成 16）年に「花岡山化石採集場現地学習会」、2005（平成 17）年に「ゴールデンウィーク恐竜化石調査」、2006（平成 18）年に「GW 恐竜化石発掘調査」、2007（平成 19）年に「ゴールデンウィーク化石散策登山」として、小学生以上の一般を対象に実施した。2008（平成 20）年以降は「ゴールデンウィーク化石教室」を化石採集場利用者対象に実施している。

○ 御所浦白亜紀資料館講演会

2021（令和 3）年と 2022（令和 4）年に、一般を対象にそれぞれ防災（講師を招聘）と御所浦周辺の魚貝類についての講演会を実施している。

○ その他

- ・「指導者セミナー」を 1997（平成 9）年、御所浦白亜紀資料館の利用や現地の地層や化石を観察方法について、学校教員等を対象に実施。
- ・「一般者セミナー」を 1998（平成 10）年、御所浦白亜紀資料館の利用や現地の地層や化石を観察方法について、社会人を対象に実施。
- ・「化石現地教室」を 1999～2001（平成 11～13）年、社会人を対象に実施。御所浦白亜紀資料館の見学や現地の地層や化石を観察。
- ・「化石を楽しむワークショップ」を 2002（平成 14）年、講師を招聘し小学生以上の一般を対象に実施。御所浦白亜紀資料館の見学や現地の化石を観察。
- ・ワークショップ「不知火海を探る」を 2003（平成 15）年、小学生以上の一般を対象に実施。とんとこ漁で採れる魚などをワークショップ形式で調査。
- ・「島の自然ワークショップ」を 2004（平成 16）年度以降は小学生以上の一般を対象に毎年実施。化石に限らず、御所浦地域で観察できる動植物のワークショップを実施している（2019 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。2023 年度は実施せず）。
- ・「島めぐりバス」を 2008（平成 20）年から 2011（平成 23）年に、特別展（企画展）の開催に合わせて週末に運行。
- ・「御所浦島一周クルージング」を 2009（平成 21）年から 2014（平成 26）年に、特別展（企画展）の開催に合わせて週末に運航（2014 年は熊本県主催のクルージングも運航した。2015 年以降は夏から秋にかけて、熊本県主催で運航している）。
- ・以上のほか、これまでに特別展に合わせた普及事業や「海にうかぶ博物館 あまくさ」やジオパークなどに関連した普及事業を実施している。

**「海にうかぶ博物館 あまくさ」とジオパーク**

御所浦町全島博物館構想から続く取り組みや地元ガイドの活動等が評価され、2009（平成 21）年 10 月に「天草御所浦ジオパーク」として日本ジオパークネットワークに加盟認定された。さらに天草地域全体に取り組み範囲を広げ、2014（平成 26）年 8 月には「天草ジオパーク」として日本ジオパークネットワークに加盟認定された。しかし、2020（令和 2）年 3 月には認定を返上した。その後は、「海にうかぶ博物館 あまくさ」

として、地域に根ざした取り組みを進め、学校や各種団体への普及活動に力を入れている。

## ガイド育成

天草御所浦ジオパーク認定に伴い、ジオガイドの育成を行ってきた。2013(平成25)年には、御所浦ジオツーリズムガイドの会が設立され、コースに応じた育成講座や研修を共同で行っている。また同年より、御所浦中学校3年生を対象に、総合学習の時間を利用したジュニアガイドサポーター養成を行っている。

## ホームページ

御所浦白亜紀資料館としてのホームページを2003(平成15)年7月1日に開設した。2021(令和3)年10月20日よりWEB上で御所浦島開発総合センターにあった御所浦白亜紀資料館の館内や展示物をバーチャルミュージアムとして公開している。2024(令和6)年1月22日に御所浦恐竜の島博物館のホームページを公開した。

## 主な出版物・印刷物ほか

御所浦白亜紀資料館報を発行し、研究報告や調査報告、事業報告等を行ってきた。そのほか、様々な出版物や印刷物を発行、もしくは関連する団体等を通じて発行してきた。

- 「御所浦の地質」1998(平成10)年、御所浦町全島博物館構想推進協議会発行
- 「はがき 天草の化石シリーズ」2セット、1998(平成10)年、御所浦町全島博物館構想推進協議会制作
- 「下敷き 天草の恐竜たち」2種、1998(平成10)年、御所浦町全島博物館構想推進協議会制作
- 「ぬりえ モンゴルとあまくさの恐竜」2種、1998(平成10)年、御所浦町全島博物館構想推進協議会制作
- 「御所浦白亜紀資料館報」第1号～第25号、2000～2024(平成12～令和6)年(毎年発行)、御所浦白亜紀資料館発行
- 「木漏れ日登山道ふれあいワークショップ資料集」及び「烏峠登山道植物観察資料集」、2005(平成17)年、御所浦アイランドツーリズム・御所浦白亜紀資料館ほか発行
- 「天草の地質図」、2001(平成13)年、御所浦町全島博物館構想推進協議会発行
- 「天草の地質図解説書」、2001(平成13)年、御所浦白亜紀資料館友の会発行
- 「御所浦白亜紀資料館友の会誌」vol.1～23、2001～2022(平成13～令和4)年、御所浦白亜紀資料館友の会発行
- これでかんぺき！！花岡山の化石、2005(平成17)年、御所浦白亜紀資料館友の会・御所浦町立御所浦小学校発行
- 「天草御所浦ジオパーク」パンフレット(解説板・ダイジェスト版)、2011(平成23)年(2012年英語版発行)、天草御所浦ジオパーク推進協議会発行
- 「海にうかぶ博物館 天草ジオパーク構想」パンフレット(日本語版・英語版)、2012(平成24)年、天草ジオパーク構想推進協議会発行
- 「天草ジオパーク構想 こども新聞」、2013(平成25)年、天草ジオパーク構想推進協議会発行
- 「海にうかぶ博物館 天草ジオパーク」パンフレット(ダイジェスト版)、2015(平成27)年、天草ジオパーク推進協議会発行
- 「海にうかぶ博物館 天草ジオパーク」マップ、2015(平成27)年、天草ジオパーク推進協議会発行
- 「海にうかぶ博物館 天草ジオパーク大冒険」、2016(平成28)年、天草ジオパーク推進協議会発行
- 「海にうかぶ博物館 天草ジオパーク ガイドブック ～天草の自然～」2016(平成28)年、天草ジオパーク推進協議会発行
- 「化石ミニガイド」、2015(平成27)年以降、御所浦白亜紀資料館発行

- 「天草の古生物シリーズカード」(現在まで17種), 2017(平成29)年以降, 毎年制作, 御所浦白亜紀資料館発行
- 「海にうかぶ博物館 あまくさ」リーフレット(ダイジェスト版), 2020(令和2)年, 天草自然資源活用推進連絡会発行
- 「海にうかぶ博物館 あまくさ」パンフレット, 2022(令和4)年, 天草自然資源活用推進連絡会発行
- 「海にうかぶ博物館 あまくさ」ガイドブック, 2024(令和6)年, 天草自然資源活用推進連絡会発行

## 最後に

御所浦白亜紀資料館としての27年の間, ここでは記しきれない活動を行ってきた。これらの活動は, 御所浦白亜紀資料館開館当初より多くの人の念願であった「御所浦恐竜の島博物館」に引き継がれ, さらに充実したものとなる。御所浦白亜紀資料館としての活動の詳細については御所浦白亜紀資料館報第1号から最終号となる第25号の本誌にある事業報告及び主要行事覧で行っているので, ご覧いただきたい。

最後に, 離島の小さな資料館でありながらも, 多くの活動ができたことは, 御所浦白亜紀資料館への地元の方々の理解や協力があったこと, 沢山の方々に御所浦白亜紀資料館を観覧いただくと共に事業へ参加していただくなど資料館の活動を支えていただいたこと, そしてこれまでに御所浦白亜紀資料館の運営に関わっていただいた方々の尽力によるものである。これらの皆様に, この場を借りて厚く御礼を申し上げる。